



生涯学習センター ～学びの情報はここに聞こう～

生涯学習センターは、地域の生涯学習の拠点として、様々なテーマの講座や講演会を実施するほか、生涯学習に関する情報の収集や提供、相談業務などを行っています。今回は、生涯学習に関する情報満載の情報誌『生涯学習NAVI 好き! 学び!』と、どなたでも参加できる「さがまちカレッジ」についてご紹介します。

問い合わせ 生涯学習センター ☎ 728-0071



生涯学習NAVIを 見てみよう!

「何か学んでみたい」「休日には何をしよう」…こんな気持ちになった日は、生涯学習情報誌『生涯学習NAVI 好き! 学び!』を片手に、市内の学習イベントに参加してみたいかをご紹介します。

▲『生涯学習 NAVI 好き! 学び!』
6・7月号

生涯学習センターでは、市内の様々な学習情報を収集して皆さんの生涯学習活動を応援しています。情報誌には、主に市内で開催される学習講座やイベント等の情報が満載です。2ヶ月に1度発行しており、現在6・7月号を配布中です。この情報誌は、生涯学習センターのほか、市立図書館や市民センター等の公共施設で無料配布しています。

講座・イベント情報のほか、読み物ページも充実しています。ぜひお手に取ってご覧ください。

“さがまちカレッジ”に 参加してみよう!

生涯学習センターは、様々な団体と連携をしています。その一つが公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム(通称「さがまちコンソーシアム」)です。近隣の大学や企業・NPOが参加して地域の魅力向上に向けて活動しています。

さがまちコンソーシアムが提供する学習講座が「さがまちカレッジ」です。学びの楽しさを伝えながら、暮らしに役立つ講座や社会的な課題の解決など、身近な話題をテーマに様々な講座を提供しています。

町田市連携講座では、生涯学習センターが会場となります。開催の予告は広報まちだで随時行います。また、チラシや受講申込書は生涯学習センターのほか、図書館や市民センター等の公共施設で配布しています。ぜひご参加下さい。

2013年度「さがまちカレッジ」開催予定講座(7月～9月)

- 蓮の香りを聞く(蓮の香りの紹介など)
- 「アスリート関係者の皆様!!お菓どうしていますか?」
～うっかりドーピングにご用心～
- 理系への夢を育てよう!～女性獣医師の活躍する現場って?～
- デザイン脳 ①良いデザインは何? ②脳を刺激する書籍
- 誰でもできる!プランターで野菜作り 秋編
- 親子で学ぶこどもの病気～子供の感染症と予防～
- 江戸を楽しむ 一江戸のヒーローたち
- 「こころの救急マニュアル～大切な人の心の健康のために～」

2013年度「さがまちカレッジ」夏休み子ども講座

- Kids English in SALESIO ー親子で楽しむKids Englishー
- 親子でピクトグラムうちわを作ろう
- 「ゲームを作ってみよう!」プログラミングワークショップ
- たのしく環境を学ぼう in 鶴見川
- 水族館の仕事ー北里大学海洋生命科学部 夏の体験講座ー

自由民権資料館企画展 入館無料 「神奈川県会と武相の民権家」

会 期: 7月27日(土)～9月16日(月・祝)

開館時間: 9:00～16:30

休館日: 月曜日(ただし9月16日は開館)

問い合わせ 自由民権資料館 ☎ 734-4508

1879(明治12)年、世界との窓口だった横浜で、神奈川県会が開かれます。そこには、県内各地の民権家たちが選挙で選ばれ、県会議員として参加しました。1893(明治26)年まで神奈川県に属していた多摩地域からも、各郡選出の議員が参加しました。

今回の企画展では、神奈川県会の様子や、そこで起こった出来事・事件、そこに立ち会った民権家・県会議員たちの体験を覗いてみます。

会期中、講演会やギャラリートークを行います。詳細は、町田市ホームページや広報まちだ、『生涯学習NAVI』8・9月号でお知らせします。



▲第1回神奈川県会での
県会議員集合写真



▲第1回神奈川県会の会場となった
横浜町会所

連載

町田市の文化財をご存知ですか

第11回 三輪瓦窯址



▲三輪瓦窯址

三輪緑山の造成に伴い昭和57年に調査が実施され、奈良時代の瓦窯跡1基と住居跡4軒、平安時代の住居跡1軒が確認されています。瓦窯で焼かれた瓦は北東へ約300m離れた川崎市の岡上廃寺に供給された可能性が指摘されています。住居跡は出土した遺物から瓦の生産に携わった人たちの住まいや工房らしいことがわかりました。

現在、遺跡は三輪ゆりの木通り公園内に保存されており、タイルや盛土で窯と住居の位置が表示されています。

所 在: 三輪緑山3丁目14
案 内: 小田急線鶴川駅3番バス乗り場より小田急バスで三輪入口下車すぐ



町田市歴史の1コマ

県会議員不完全選挙と村野常右衛門

1881(明治14)年、第2回神奈川県会議員選挙が行われました。町田市域が属した南多摩郡の定数は4名。選挙権は、納税額で制限があったので、納税額により有権者名簿の更新が必要でした。ところが、南多摩郡では選挙人の名簿に一部の有権者が掲載されておらず、投票できないという事件が起きました。逆に、選挙権がないのに、投票できた人もいました。さらに、誰が被選挙権者なのかも判然としない状態でした。原因は、郡役所が選挙権者・被選挙権者の名簿の更新を怠っていたためでした。

野津田村の戸長だった若き



▲村野常右衛門
(満25歳ころ)

▲筆写された被選挙権者名簿

ちなみに、糾弾された郡長佐藤俊正というのは、新選組を支えた日野の佐藤彦五郎のことです。民権運動は、しばしば「反薩長」意識で新選組から連続していると考えられがちですが、この事件はそれでは説明できない象徴的な出来事といえます。

野津田村の戸長だった若き

